

香港株式市場フラッシュ

中東紛争と石油株、海運株

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2026年3月11日号(2月25日作成)

”中国3大国有石油会社の上場子会社“

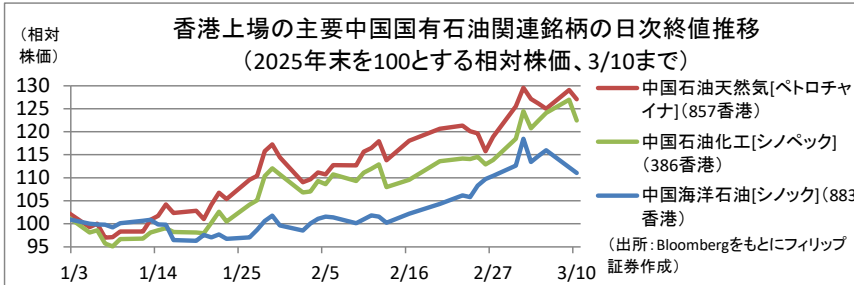
中国の石油産業では、中国石油天然気集団公司(CNPC)、中国石油化工集団公司(シノペック)、および中国海洋石油総公司(CNOOC)の3大国有石油会社が「三桶油」と呼ばれ圧倒的地位を占めている。香港市場には、CNPC傘下の**ペトロチャイナ(857/HK)**、シノペック**(386/HK)**および**CNOOC(883/HK)**が上場している。

ペトロチャイナは国内屈指の大慶油田や長慶油田を保有し、原油・天然ガスの生産で国内最大であるほか、2025年6月末時点でガソリンスタンド2万2223店、コンビニエンスストア1万9963店を運営している。世界的にも、サウジアラムコ(サウジアラビア)、ペトロナス(マレーシア)、ペトロbras(ブラジル)、ガスプロム(ロシア)、イラン国営石油(イラン)、ベネズエラ国営石油(ベネズエラ)と並んで「新・セブンスターズ」と呼ばれている。

シノペックは原油や天然ガスの探査・生産から石油精製、小売、石化製品製造、パイプライン運営を手掛けている。石油製品の製造・販売で中国最大級のほか、2025年6月末でガソリンスタンド3万1015店を展開。

CNOOCは、海底油田の探査・開発、原油および天然ガスの生産・販売を手掛け、独立系のE&P(探査と開発・生産)会社としては世界最大規模を誇る。中国近海のほか、インドネシアやナイジェリア、豪州、カナダなどに油田権益を保有する。

3/10終値における予想配当利回りは、ペトロチャイナが5.06%、シノペックが4.95%、CNOOCが5.13%である。米国とイスラエルが2/28にイランを攻撃して以降、原油輸出の要衝であるホルムズ海峡が事実上の封鎖状態にあり、貯蔵タンクが満杯になることから湾岸諸国の原油生産停止の動きが相次いでいる。WTI原油先物価格は3/9に2022年6月以来の1バレル100ドル超えとなった。上記3社のうち、ペトロチャイナとシノペックの株価は3月に入ってから堅調に推移。ガソリンスタンドなど下流部門を擁していることが強みとなっていると考えられる。

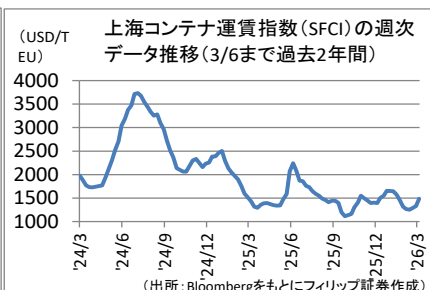
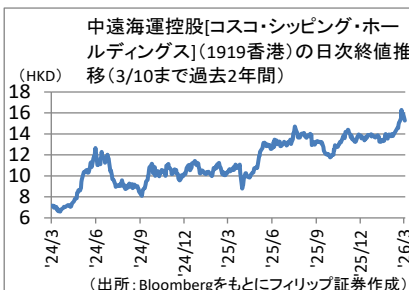


”海上運賃高騰の恩恵が見込まれる中遠海運控股“

中国はイラン産原油の最大の輸入国であり、約9割のシェアを占めている。イラン産原油の供給が停止すれば、供給源の喪失とエネルギー不安に直面してしまう。

トランプ米政権は3月末のトランプ米大統領の訪中を睨み、中国に対し、イラン産原油の購入を縮小し米国産に切り替えるよう要求している。これに対し、中国は自国のエネルギー運搬船の安全を確保するためイランと協議を行っている。

2016年に中国海運1位と2位の国有企業が合併して誕生した中国国有海運最大手の中国遠洋海運集団(コスコ・グループ)における中核企業が**中遠海運控股(1919/HK)**である。同社の傘下企業が3/4、中東紛争の激化とホルムズ海峡の運行規制の状況を踏まえ、中東航路の新規予約受付を停止すると発表。アフリカの喜望峰を経由する代替ルートを採用する場合、中国〜欧州間の航海日数が延びることから、海上運賃が今後上昇することが見込まれる。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全100銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前回基準日: 20260224 基準日: 20260310

順位	2025年末騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	新鴻基地産発展[サンファンカイ・プロパティーズ]	47.3	1
2	創科実業[テクトロニック・インダストリーズ]	30.6	2
3	信義瑠璃控股[信義ガラス]	28.4	8
4	中国海洋石油 [CNOOC]	27.0	13
5	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	22.4	33
6	華虹半導体[ファオン・セミコンダクター]	22.0	3
7	長江実業集団[CKアセット・ホールディングス]	21.7	12
8	東方海外国際[オリエン・オーパシズ]	21.1	34
9	Haidilao International Holdi (海底撈)	20.4	29
10	中国神華能源[チャイナ・シェンフ・エナジー]	17.5	36

順位	2025年末騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
100	金蝶国際軟件集団[キングディー・ソフトウェア]	-28.1	99
99	携程旅行網[トリップドットコムグループ]	-24.1	100
98	Meituan (美团)	-23.4	98
97	Tencent Music Entertainment Group	-19.7	97
96	Zhejiang Leapmotor Technologies Ltd	-15.7	91
95	中升控股[フォンサン・グループ・ホールディングス]	-15.7	67
94	小米集団[シャオミ]	-14.5	92
93	舜宇光学科技(集団)[サニー・オプティカル・テクノロジー]	-14.4	94
92	網易[ネットイース]	-12.4	96
91	地平線机器人[ホライズン・ロボティクス]	-12.1	72

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2026年3月: 中国主要経済指標】

- 2月28日(土)
 - ・1月対外直接投資<前年同月比>: 前回▲9.5%、結果▲5.7%
- 3月4日(水)
 - ・2月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.3、結果49.0
 - ・2月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.4、結果49.5
 - ・2月(RatingDog)製造業PMI: 前回50.3、結果52.1
 - ・2月(RatingDog)サービス部門PMI: 前回52.3、結果56.7
- 3月7日(土)
 - ・2月外貨準備高: 前回3.399兆USD、結果3.427兆USD
- 3月9日(月)
 - ・2月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+0.2%、結果+1.3%
 - ・2月卸売物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲1.4%、結果▲0.9%
- 3月10日(火)
 - ・2月貿易収支: 前回+1141.4億USD、結果+909.8億USD
 - ・2月輸出<前年同月比>: 前回+6.6%、結果+39.6%
 - ・2月輸入<前年同月比>: 前回+5.7%、結果+13.8%
- 3月11日(水)-19日(木)
 - ・2月資金調達総額: 前回7.22兆元
 - ・2月新規人民元建て融資: 4.71兆元
 - ・2月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+9.0%
 - ・2月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.37%
- 3月16日(月)
 - ・2月小売売上高<前年同月比>: 前回+3.7%
 - ・2月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+5.9%
 - ・1-2月不動産投資<前年同月比>: 前回▲17.2%
 - ・1-2月固定資産投資<前年同月比>: 前回▲3.8%
 - ・2月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲13.0%
 - ・2月調査失業率<前年同月比>: 前回5.1%
- 3月20日(金)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.00%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.50%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、当レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。